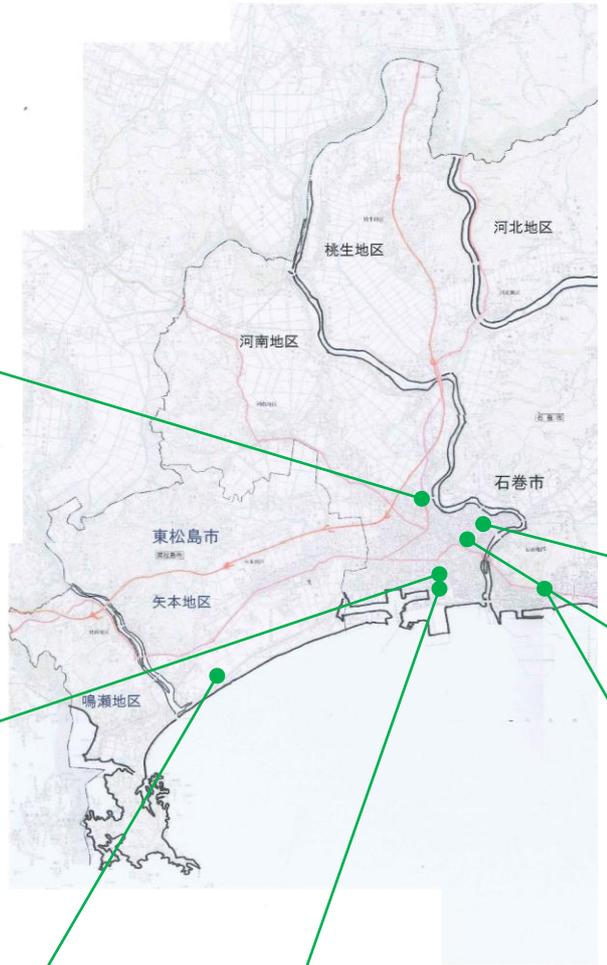


# 第3章 石巻広域消防の活動状況



石巻赤十字病院での救急活動状況



石巻市門脇地区での火災現場救助活動状況  
石巻日日新聞社提供



東松島市牛網地区での検索活動状況



石巻市門脇地区での検索活動状況



石巻市釜谷地区での検索活動状況



石巻市雄勝町明神地区での検索活動状況



新規採用職員による物資搬出作業状況



石巻市湊地区での検索活動状況



石巻市内での救急活動状況 石巻日日新聞社提供

### 第3章 石巻広域消防の活動状況

#### 1 広域消防の被災状況

##### ○ 署所別被害状況

所属名	人的被害	庁舎被害(津波被害)	車両被害
消防本部	—	浸水により 地下施設被害	広報車
石巻消防署	殉職1人		ポンプ自動車・高規格救急車 化学車・救助工作車Ⅲ型
〃 南分署	—	床上浸水	ポンプ自動車・普通救急車 広報車
〃 中央出張所	—	—	ポンプ自動車
〃 湊出張所	—	床上浸水	ポンプ自動車・広報車
〃 渡波出張所	負傷者1名	床上浸水	ポンプ自動車2台・高規格救急車 広報車
河北消防署	—	—	—
〃 桃生出張所	—	—	—
〃 北上出張所	殉職2人	全壊	普通救急車・広報車
矢本消防署	—	—	—
〃 河南出張所	—	—	—
〃 鳴瀬出張所	—	全壊	普通救急車
女川消防署	殉職3人 負傷者3名	全壊	—
〃 雄勝出張所	負傷者1名	全壊	ポンプ自動車2台・普通救急車 広報車
〃 牡鹿出張所	—	全壊	ポンプ自動車
合計	殉職6人 負傷者5名	全壊庁舎1署4所 床上浸水1分署2所 その他1	ポンプ自動車9台・高規格救急車2台 普通救急車4台・広報車6台 化学車1台・救助工作車Ⅲ型1台 計23台の車両が被災
※ 殉職者6名のうち4名は行方不明 (H24/3/11 現在)		現有車両74台－被災車両23台＝被災後の車両51台	





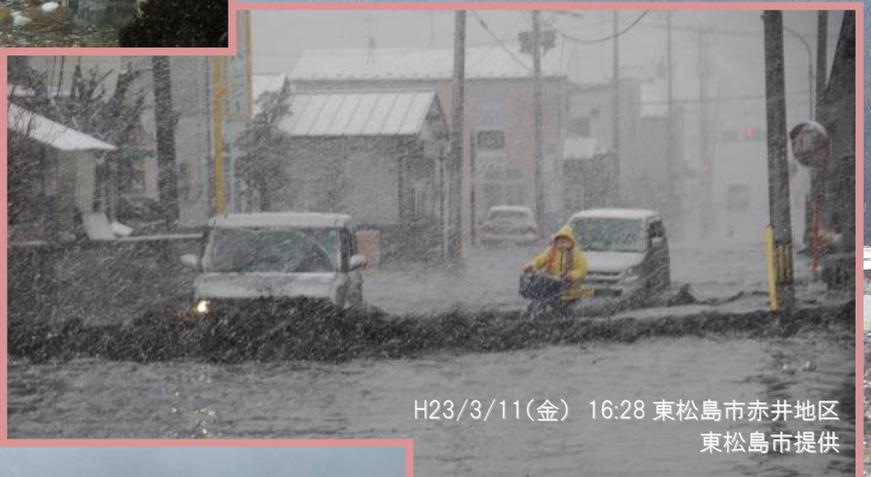
H23/3/11(金) 16:11 消防本部通信指令室内  
石巻日日新聞社提供



H23/3/11(金) 15:53 石巻市北上町橋浦地区  
北上町在住 佐々木茂美氏撮影提供



H23/3/11(金) 16:10 石巻市日和山より  
石巻日日新聞社提供



H23/3/11(金) 16:28 東松島市赤井地区  
東松島市提供



H23/3/11(金) 16:04 女川町湾内  
女川町提供



## 2 警防対策本部の初動対応

・・・3月11日(金)・・・

### ○ 主な指令内容

14:46 地震発生 同時刻警防対策本部立ち上げ  
14:51 湊地区火災・火災出動指令  
14:54 大津波警報発令  
14:56 現在火災入電は1件のみ  
15:00 大津波6m 各隊注意せよ  
15:04 吉野町火災・火災出動指令  
15:05 無線統制 津波情報は市波2とする  
15:16 津波の高さは10m  
津波警戒隊は高台へ避難せよ  
15:19 渡波救急隊救急出動指令  
15:23 鳴瀬救急隊救急出動指令  
15:31 石巻救急隊救急出動指令  
15:31 女川町で6mの津波襲来  
15:32 無線統制 津波情報は市波1とする  
15:40 南救急隊救急出動指令  
15:44 各地区において大津波襲来  
15:51 各地区で大津波、出動隊注意せよ  
15:54 日和が丘で火災入電中  
16:08 各隊は高台から津波情報送れ  
16:30 石巻署救急救命士に石巻日赤病院出向指示  
16:54 桃生救急隊救急出動指令  
16:58 門脇、中央三丁目で火災発生  
17:15 矢本救急隊救急出動指令  
17:43 河南救急隊救急出動指令  
18:00 南救急隊救急出動指令  
18:13 石巻救急隊救急出動指令  
河北、矢本、河南、桃生隊移動配備指示  
18:43 石巻救急隊救急出動指令  
18:51 南救急隊救急出動指令  
19:13 石巻救急隊救急出動指令  
19:38 南救急隊救急出動指令  
移動配備隊日和山方面火災出動指示  
20:08 矢本救急隊救急出動指令  
21:10 南救急隊救急出動指令  
22:00 石巻救急隊救急出動指令  
23:00 徒歩隊日和山方面火災出動指示  
23:02 矢本救急隊救急出動指令  
23:52 河北救急隊救急出動指令  
23:53 現在救助要請 41 件、活動可能な救急隊は5隊  
00時から自衛隊、警察、日赤等と合同会議を  
開催予定(各隊情報提供)

### ○ 出動隊からの主な情報

14:58 雄勝隊総合支所退避完了(雄勝)  
14:59 鳴瀬河口急に潮が引いている(鳴瀬)  
15:01 鮎川棧橋急激に水が引いている(牡鹿)  
15:04 雄勝湾内目に見える引き潮発生(雄勝)  
15:11 湊地区吉野町火災は炎上中  
15:16 鳴瀬隊は高台へ退避中(鳴瀬)  
15:16 北上隊は旧白浜ホテルで待機(北上)  
15:26 鮎川津波高さ6mに達している(牡鹿)  
15:30 湊地区吉野町火災は鎮圧状態(石巻)  
15:31 女川湾6mの津波襲来(女川)  
15:33 十三浜白浜地区で5mの津波襲来  
なおも引き潮あり、第二波の危険(北上)  
15:34 女川町に10~12mの津波襲来(女川)  
15:34 長面地区にて津波が防潮堤を超えた(河北)  
15:36 白浜地区で津波により民家流出(北上)  
15:40 旧北上川水位上昇している(中央)  
15:41 雄勝湾で15~20m支所3階まで津波  
消防車両流出・所員退避するも1名負傷  
湾内9割超が壊滅状態(雄勝)  
15:42 市立病院前まで水面上昇(中央)  
15:43 旧北上川河口に津波襲来(中央)  
15:43 新北上川で堤防越水・飯野川町も危険(河北)  
15:44 多くの車両が津波で流されている(中央)  
15:44 十三浜小室地区水没した(北上)  
16:01 3~4mの第三波襲来牡鹿所全壊  
現在地は牡鹿総合支所(牡鹿)  
16:05 津波によりポンプ車走行不能(渡波)  
16:08 白浜地区に2mの第三波襲来(北上)  
16:22 渡波隊4名宮水高校に退避、車両運用不能  
宮水1.5m冠水(渡波)  
16:23 鳴瀬ポンプ隊は定林寺退避済み(鳴瀬)  
16:33 鮎川第六波 4m程度の津波  
16:38 はしご車等蛇田地区に退避完了(石巻)  
16:51 雄勝総合支所北側で火災発生(雄勝)  
16:51 貞山運河で救助活動中(石巻救助隊)  
18:15 元浦屋敷で要救助者多数あり(石巻救助隊)  
18:53 署長以下4名行方不明(女川)  
19:00 日和山門脇地区の火災防ぎよ中  
自隊のみで鎮圧不可能(中央)  
19:22 柳の目方面救助活動中(石巻救助隊)  
19:29 元浦屋敷救助活動応援を要す(石巻救助隊)  
19:30 大街道小学校付近に黒煙あり  
津波による冠水で進入不可能(矢本)  
19:31 大街道には冠水車両の上に多数の要救助者あり  
なお火災は南浜町の模様(矢本)  
23:10 緊急消防援助隊新潟県隊 24 隊 90 名石巻へ向か  
った(宮城県消防課)



### ○ 庁舎の被害状況

消防本部庁舎は平成19年4月に建設され、免震構造、指令台等への非常用電源等広域管内の防災拠点として十分な機能を有する構造であったため、地震による被害はなく、地震発生後1週間以上にわたる停電時であっても主要な設備は自家発電設備で対応することができた。

非常用電源にあっては、長期の活動に備えるため指令システムにかかる電力と、庁舎に避難してきた住民スペースへの空調に制限しての活動となった。

### ○ 消防隊への活動指示

当初マニュアルでは、1火災1隊での対応を原則としたが、津波襲来前に発生した火災は炎上火災のため、3隊を出動させることとした。当該地区は想定されていた浸水区域でなかったが、津波襲来の現場からの報告を受け、退避命令を出した。

津波襲来後の炎上火災については、対応可能部隊の総力を挙げて延焼阻止にあたることとした。

救急対応については、当初マニュアルでは、発災後30分までに大規模火災が発生していない場合は、この時点で救急対応を開始することとしていたが、想定を超える津波襲来のため、出動途上で被災した救急隊が3隊にのぼり、隊員を危険にさらしてしまった。

なお、救急出動は119番通報時重症度の高い救急事案を優先して対応した。

救助対応にあっては、119番通報が相次ぎ、津波襲来のため現場へ到着できる場所が限られてしまい、その中でも最も要救助者の多い地区に投入することとなった。

また、津波襲来により沿岸地域の被害甚大につき、内陸署所の参集所員に対し、本部へ招集することとした。

### ○ 臨時分隊の編成

本部へ参集した署所の非番職員等に対し、徒歩部隊を含め、炎上拡大中の2か所の火災現場及び要救助者が多数発生した救助現場へ応援出動させた。

### ○ 119番受付状況

発災後1時間までの間に119番による火災、救急、救助要請の通報は併せて64件ののぼり、20時50分に119番回線が途絶するまでの間580件に上った

580件の通報のうちそのほとんどは、津波による救助要請であったが、いずれも浸水により対応が不可能な状況であった。

## ○ 職員の安否確認

当番及び参集済職員の安否確認については、消防無線等で確認することができたが、未参集職員の安否確認については、電話回線の不通により確認は困難を極め、全職員の確認を完了するまで数日を要した。

津波の直撃を受けた署所勤務職員にあっては、当日深夜になって行方不明職員がいることが消防無線で傍受することが出来たが、現場の確認をするまで数日を要した。

## ○ 関係機関との調整

発災後、宮城県防災航空隊及び航空自衛隊松島基地に対し、上空からの偵察を要請した。

宮城県に対し15時30分に代表消防機関（仙台市消防局）が緊急消防援助隊出動要請を行った。

※ 15時36分に宮城県から消防庁へ要請

発災後順次管内医療機関に対し、傷病者の受け入れ要請と、病院側の態勢確認を行った。

## ○ 避難住民の受け入れ

事前に地元自主防災会と緊急避難の受け入れについて協議と訓練を実施して来ており、発災後集まってきた避難住民約600人に対し、自主防災会長にその対応をお願いし、了承を頂いた。

当初は避難スペースとして大会議室を提供したが、避難してくる住民で入りきれない状況となったため、廊下、ギャラリーを含め、避難住民のためのスペースとして開放した。

・・・3月12日（土）・・・

## ○ 主な情報

00:04 石巻駅前付近に500人位冠水で立ち往生

00:35 蛇田駅付近で火災発生

00:46 蛇田駅付近の火災は炎上火災

01:03 蛇田地区の火災は5棟炎上中これより放水開始

02:39 野蒜小学校から住民をピストン輸送中

03:00 蛇田地区の火災は鎮火

03:30 宮城県災害対策本部に連絡

人的被害不明、現在の火災は1件、孤立集落については、特に女川町、牡鹿、雄勝地区が甚大で詳細は情報入らず不明、管内は広範囲に津波浸水

08:05 国交省ヘリからの情報

女川町は水は引いているが高台を除き壊滅の状態  
石巻港も水は引いているが被害が甚大

11:36 石巻市中央で建物火災

11:50 石巻市湊地区避難者1500人超 物資不足

12:15 和歌山防災ヘリ河北地区活動開始

熊本防災ヘリ北上地区活動開始

15:25 石巻市大街道地区約30名取り残されている

15:53 岡山防災ヘリ間もなく石巻到着

15:56 広島防災ヘリ東松島市宮戸で傷病者救助中

15:58 栃木防災ヘリ石巻へあと7分で到着

16:10 各署所一斉指令 職員の安否確認報告せよ

16:17 石巻市門脇地区避難所1600人食糧配給なし

20:26 一斉指令 20:24津波警報に切り替わった

H23/3/11(金) 17:10 消防本部3階より日和山を望む  
正面奥 日和山周辺が火災による煙で覆われている





・・・ 3月13日(日)・・・

- 06:52 渡波地区避難所で多数の傷病者あり救急出動
- 07:00 湊方面に相当数の避難者あり、水、食糧不足深刻
- 11:37 湊地区高台神社に300人避難 物資届かず
- 13:05 女川原発10条通報
- 14:27 石巻市渡波以西津波瓦礫のため通行不能
- 14:50 NTT局舎全壊、復旧見込み立たず
- 15:43 女川原発構内で火災発生の様相
- 15:45 宮城県災害対策本部より情報提供  
女川町江の島へ物資の要請あり
- 15:55 緊急消防援助隊北海道隊石巻へ向かっている
- 16:20 東京都副知事にツイッターでの要請情報  
日和山で避難者多数、食糧と水の支援要請
- 17:00 緊急消防援助隊と歌山県隊石巻市に到着
- 17:00 雄勝地区53名の遺体発見、行方不明者109名
- 18:20 緊急消防援助隊北海道隊間もなく石巻市に到着
- 18:30 石巻市湊地区国道398号全て通行不能
- 20:00 職員安否確認結果  
北上所長以下3名連絡つかず、女川署長以下4名  
連絡つかず、非番職員は未だ全員確認できず

#### ○ 緊急消防援助隊受援

早朝03時12分頃、緊急消防援助隊先遣隊(新潟市消防局)が消防本部に到着、協議の結果、集結場所、野営地を石巻市総合運動公園とし、現地での確保と確認をした。

06時12分頃、新潟県隊(29隊135名)が石巻市総合運動公園に到着、それぞれ消火、救助、救急部隊の編成をし、各災害現場に振り分けた後、応援活動を要請した。

#### ○ 緊援隊支援要員の確保

緊急消防援助隊到着後、円滑な現場活動を行うため、20人の所属職員を緊急消防援助隊の支援要員として編成し、各出動部隊に1名以上を配し対応した。

※ 支援要員は、主に現場までの地理案内及び現場の状況説明等に任務にあたり、業務内容を分かりやすくするため、「ナビ要員」として緊急消防援助隊受援の間、確保し続けた。

#### ○ 車両燃料確保

当初マニュアルにおいて、車両燃料の確保については、手配できなくなることは想定しておらず、少量の確保しかしていなかった。このため津波浸水と大規模なライフラインの断絶により管内のガソリンスタンド全てが事業停止となったことから、自隊のみならず応援部隊の燃料確保は困難を極め、内陸部のガソリンスタンドに直接出向き燃料を確保せざるを得なかった。

結果的には、震災対応期間中燃料の不足による活動制限は免れた。

#### ○ 被災署所への対応・安否確認

沿岸部の5署所が津波で全壊したが、発災直後は道路の寸断のため、これらの署所には部隊を投入することができなかった。2署所の5名の当番職員が行方不明との情報のほか、参集状況の確認を続けた結果、4日目になって、全職員の安否状況が把握できたため、連絡の取れない5名の当番職員と1名の非番職員を行方不明と判断し、職員家族に状況説明のため出向いた。

### ○ 食糧等の確保

当初マニュアルでは、職員各自が数日間の非常食を準備することとしていたが、他の署所から参集する職員、消防本部庁内に受け入れをした避難住民のため、大量の食糧確保が求められ、石巻市災害対策本部も津波浸水のため孤立状態につき、支援助物資等提供はなかった。

このため、近隣商店より申出のあった食糧等の受け入れをし、避難住民に配布した。

### ○ 孤立島しよに対する状況確認

緊急消防援助隊応援へりに要請し、職員4名にてそれぞれ石巻市田代島、網地島、女川町出島、江島に降り、被害状況の確認を行った。

緊急を要する負傷者等はいなかったが、医療施設からの医薬品等の搬送要請を強く受け、手配することとなった。

### ○ 遺体の収容、搬送支援

発災4日目になって、市街地の主要道路が通行できるようになってから、ご遺体を仮安置していた場所から、指定された遺体安置所までの搬送のため、本部職員3名交替で資機材搬送車を運用した。

### ○ 救助活動から捜索活動へ

発災翌日から各隊は、瓦礫と化した津波浸水区域内での生存情報を求め、検索活動を行ってきた。避難住民に対する救出救急活動と並行し、緊急消防援助隊の人員装備を最大限活用していただき、以降長期にわたる捜索活動にあたった。

### ○ 報道対応

報道対応については警防対策本部予防班長があたり、発災当日中の取材は、地元新聞社1名で、震災対応と避難住民受け入れのため、庁内のごった返していた状況での取材申し込みだった。火災の発生、各地区への津波の襲来、住民の避難、民家の流失、火災・救急活動中の隊員、車両の津波の被災など、断片的ではっきりとした状況が分からない情報が多かったことから、不確実な情報を教えることはできない。として、取材を断った。

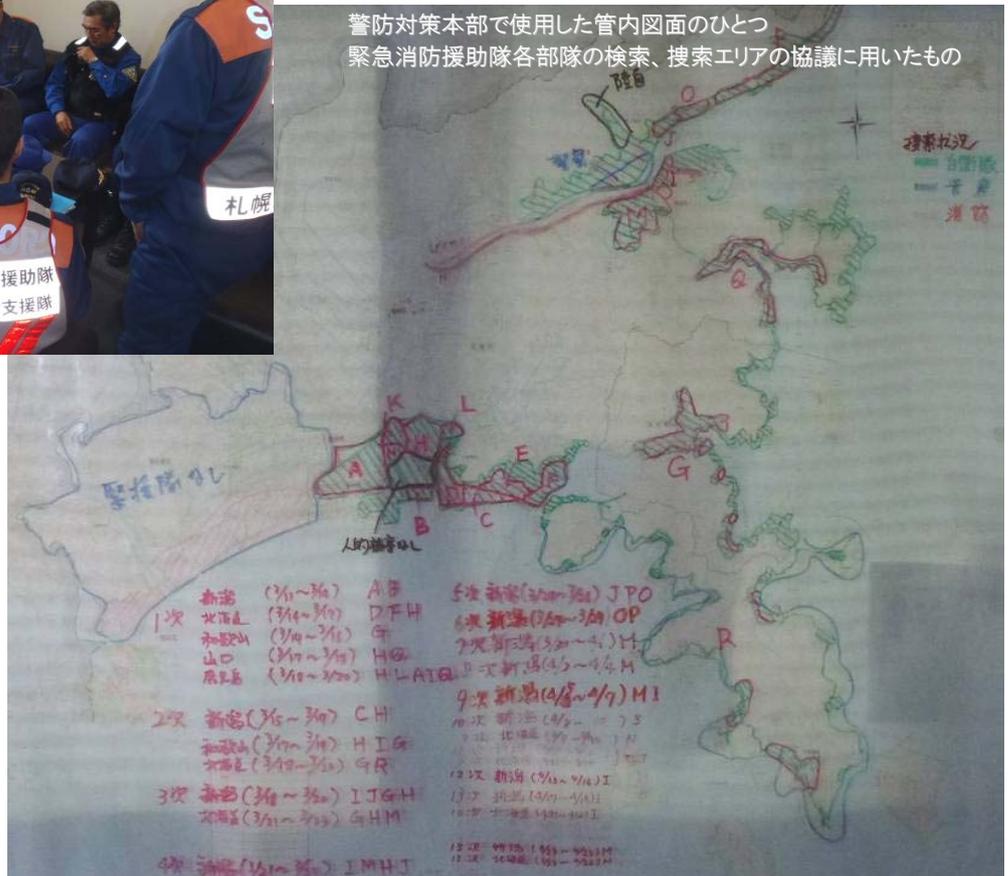
初期における報道機関への対応は、確定していない被害情報が多いことから、数日ぶりに救助された要救助者の救助状況などが主で、火災件数、救助件数、救急件数なども数字的な情報を流すことは少なかった。

報道機関からの要請がなかったことから、時間を決めての会見などは、特に行わなかった。対応は、3階廊下で個々又は数社の記者に対して行い、事象が発生する毎に対応するようにした。

H23/4/26(火)14:13 札幌市消防局長来庁  
(札幌市消防局応援部隊 13 次隊)



警防対策本部で使用した管内図面のひとつ  
緊急消防援助隊各部隊の検索、捜索エリアの協議に用いたもの





平成23年4月1日付けで、消防長に任命されました星です。

消防長就任にあたり、職員各位に申し述べさせていただきます。

皆様には、この大震災の消防活動のため、日夜自分の体を顧みず、精励されておりますことに対し深く感謝申し上げます。

この大震災において、われわれの仲間6名が未だに行方不明になっております。いろいろな機会、時間を工夫しながら検索について、さらに、継続してお願いしたいと思います。

我々の活動は、住民にとりましても、心強く、又頼もしく感じたいただけることと思います。

まだまだ、全国の緊援隊の皆様方から応援をいただくこととなりますが、この間に、皆様と一致団結をして石巻広域消防をきちんと立て直していきたい、と思っています。

では、この大震災に対する消防長就任にあたっての基本方針について掲げます。

- 一 当たり前のこと。と判断したものは、報告でよい。
- 一 今一番やってはいけないこと。それは、「考えすぎて何もしないこと。」
- 一 想定以外のことばかりの事象ですが、今いる署員で、何か方法がないか、それぞれ知恵を絞って行動してみてください。

※ 行動を起こしての失敗は、私なり組織で責任を取ります。

最後に、被災された職員のご家族様関係者に謹んで哀悼の意を表しまして挨拶に代えさせていただきます。

平成23年4月1日 消防長訓示・・・





盛夏の候 皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、3月11日の大地震直後、当石巻地区消防本部管内のいたる所で火災が続発、また、津波による多数の要救助者の発生・孤立、増加する一方の救急件数などに対し、消防庁舎、消防車両も被災した当消防本部の対応には限界がありました。

こうした中、緊急消防援助隊として当石巻地区に部隊を投入していただき、多くの圏域住民の命を救っていただきましたことに対しまして、改めて深く感謝申し上げます。

特に、津波浸水が広範囲に及んだことから、発災直後に続発した火災対応や多数の要救助者への救助活動は困難を極め、寒さも相まって隊員の皆様には大変なご苦勞をお掛けいたしました。休む間もない火災・救急・救助の初期の活動、さらには広範囲な（搜索）活動に長期に亘って携わっていただきました。

お蔭をもちまして、行方不明者は未だ多数おりますが、救急件数等も落ち着き、街にも復興に向けた動きが見えてまいりました。この度、緊急消防援助隊の支援をはじめ、活動服や救急服や救急資器材の提供など貴消防本部から賜りました御恩、消防長様自らおいでいただいたの御厚情と支援物資に込められた皆様方の思いは決して忘れることはありません。職員の皆様にもよろしくお伝えいただければ幸いに存じます。

貴職及び貴消防本部のますますのご発展を祈念申し上げ、感謝と御礼の挨拶に代えさせていただきます。本当にありがとうございました。

平成24年7月4日

石巻地区広域行政事務組合 消防長 星 幸三郎